

読書週間にあわせて  
図書館でイベントを  
実施します。  
読書の秋を  
楽しみましょう♪



## 本の福袋

10月31日(土)  
～11月8日(日)  
図書館3階

どんな本が入っているか  
お楽しみの3冊セット♪  
大人向け・子ども向け、  
それぞれ1日3点  
限定です。

## 企画展示 「食欲の秋！ おいしい本特集」

10月24日(土)～  
11月23日(月・祝)  
図書館3階

料理や食にまつわる  
本を集めて  
展示します。

## 10代の未来さがし講座 「夢をかなえる 本の読み方」

～もしも、この世に本がなかったら～  
11月3日(火・祝) 10時～  
文化フォーラム春日井2階文化活動室

小5～中3対象、本が読みたくなる  
講座です。詳しい内容・申込は  
ホームページをご覧ください。

事前申込制

## 図書館探検

11月1日(日)  
11時～

図書館3階  
絵画コーナー前集合

先着10名限定。  
普段見られない  
閉架書庫などを  
ご案内！

## 蔵書点検のため全館・全室で休館します 12月1日(火)～12月10日(木)

また、11月10日(火)～12月10日(木)は  
閉架書庫資料の閲覧・貸出を停止します

### ? 蔵書点検とは？

蔵書点検は、図書館に所蔵している本が決められた場所にあるか、行方不明になっている本がないか、点検する作業です。機械を使って本のバーコードを一冊ずつ読み取って本があること確認し、もし行方不明の本があれば館内を探します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

春日井市図書館 電話：(0568)85-6800

〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5丁目44番地 文化フォーラム春日井 3・4階

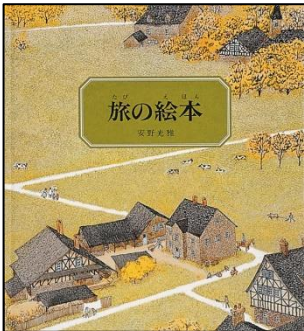
開館時間：午前9時～午後8時 休館日：月曜日（休日の場合はその直後の休日でない日）

おすすめ本紹介

## 大人にもおすすめの絵本

子どもの頃大好きだった絵本を覚えていますか？大人になっても、読んでもらった時のことを思い出すような絵本がある方も多いのではないのでしょうか。

絵本は子どものためだけのものではありません。昔読んだ本も読み返してみると、新しい発見や感動があるかもしれませんね。味わい深い絵本の世界をお楽しみください。



### 『旅の絵本』

安野 光雅/著 福音館書店 E/フク/15-26 (図書館3階児童)

この本には文字がありません。繊細なタッチで描かれたヨーロッパの風景があるだけです。

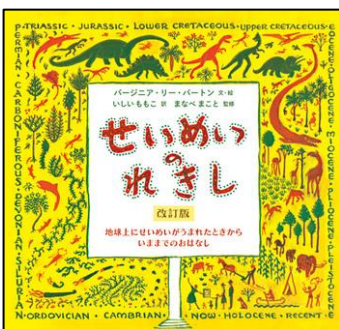
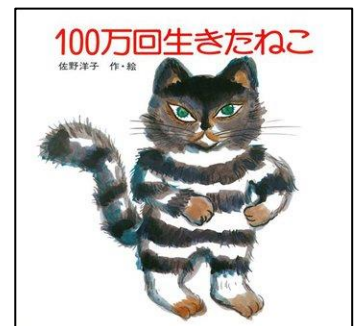
旅人は馬を買い、馬に乗って旅をします。始めはのどかな森や田園、そして街へと向かいます。各場面に必ず旅人がいますので探してみてください。言葉が書かれていない分、あれこれ想像しながら見るのも楽しそうです。童話の登場人物や名画の風景も隠れています。いろいろな楽しみ方ができる絵本です。

### 『100万回生きたねこ』

佐野 洋子/作・絵 E/コウ/17-25X27 (図書館3階児童ほか)

100万回生まれ変わった猫がいました。いろいろな人に飼われ、飼い主たちは猫をかわいがりましたが、猫はその人たちのことが嫌いでした。飼い主たちは猫が死ぬと悲しみましたが、猫は平気でした。でも、ある時猫は誰のものでもない野良猫になり、一匹の白い猫に恋をして…。

人によってさまざまな感想を抱きそうな奥の深い物語。大人にこそ読んでほしい1冊です。



### 『せいめいのれきし 改訂版』

バージニア・リー・バートン/文・絵

いしい ももこ/訳 まなべ まこと/監修

E/イワ/20-25X26 (図書館3階児童ほか)

さあ、劇の始まりです。これは、生命の歴史という終わりのない長い長い劇…。「地球はどうやってできたの?」「恐竜はなぜ滅んだの?」なかなかうまく答えられない疑問を、バートンのあたたかみのある絵とわかりやすい文で解決してくれます。

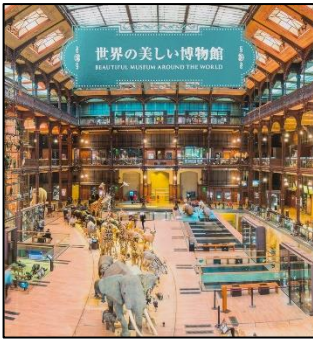
知識を得るにはこの改訂版が最適なのですが、改訂前のものはそれとは別にとても味わいがあるので、そちらもぜひご覧ください。

## おすすめ本紹介

# 博物館

世界中には、国立、私設、企業が設置したものなど、様々な博物館があります。

宇宙や地球の歴史から小さな石や微生物まで、人々の熱い思いや探求心が作り上げた博物館の本を紹介します。



### 『世界の美しい博物館』

パイ インターナショナル/編著 パイ インターナショナル  
526/セ/18 (図書館4階一般)

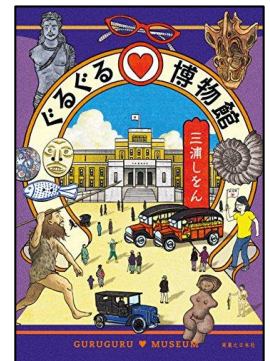
この建物が博物館！？と思うような、美しい外観やユニークな外観の博物館が掲載されています。写真や解説でそれぞれの博物館の見所、各国の文化や歴史を知ることができます。

イギリスの大英博物館を始め、日本の国立科学博物館や福井県立恐竜博物館も紹介されています。黒川紀章が設計した福井県立恐竜博物館は巨大な卵型です。卵の中にはたくさんの古代生物が詰まっています。入口を歩いて地下へエスカレーターで降りてゆくと、そこは恐竜の世界です。

### 『ぐるぐる♡博物館』

三浦しをん/著 実業之日本社 069/ク/17 (図書館4階一般/ふじとう)

旅先で博物館を発見したらとりあえず入るほど博物館が大好きな著者が、全国の面白そうな博物館を探検します。国立博物館を始め、ボタンの博物館、石ノ森記念館などを紹介しています。学芸員を巻き込み、著者の知りたいという熱い思いが伝わってくるルポエッセイです。私設博物館の奇石博物館では、石に魅せられた人の情熱あふれる展示に著者も興味津々です。博物館に携わる方々の思いが伝わってくる一冊です。



### 『京都・大阪・神戸マニアック博物館』

町田 忍/監修 メイツ出版 069/キ/18 (図書館4階一般)

個性あふれる57館。企業、大学、地場産業、本当にマニアックな内容で時間を忘れて楽しむことができます。ジャンル、所要時間、見所、利用概要、アクセスマップがカラー写真でわかりやすく紹介されています。カップヌードルミュージアムでは自分でカップヌードルを作ることができます。爪楊枝資料室には爪楊枝の歴史や海外で使われているものが展示されています。身近な物でも知らないことばかりです。是非訪ねてみたくなる博物館が満載です。



おすすめ本紹介

# 日本の記憶遺産

「世界の記憶」（世界記憶遺産）はユネスコの事業の一つで、保存や公開の促進を目的として歴史的記録物が選定され、登録されるものです。

日本で登録されている「世界の記憶」に関連する3冊をご紹介します。



【山本作兵衛炭坑記録画・記録文書（2011年5月登録）に関連して】

## ヤマ 『炭鉱に生きる』

山本 作兵衛/著 講談社 567/ヤ/11 （図書館4階一般/ふじとう）

この本は、炭鉱夫として50年間以上働いてきた山本作兵衛さんの炭鉱の生活と労働の記録であり、明治・大正時代の炭鉱の様子を描いた画文集です。

写真には、炭鉱の過酷な労働やユニークな生活の様子が描かれており、非道さ、切実さ、喜びなど生き生きとした感情が伝わってきます。

明治・大正時代の炭鉱の現実を覗いてみるのはいかがでしょうか。

【舞鶴への生還 1945～1956 シベリア抑留等日本人の本国への引き揚げの記録（2015年10月登録）に関連して】

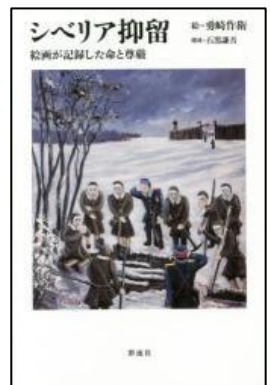
## 『シベリア抑留 絵画が記録した命と尊厳』

勇崎 作衛/絵 石黒 謙吾/構成 彩流社

723.1/シ/17（図書館4階一般）

シベリア抑留とは、第二次世界大戦後にソ連（現在のロシア）の捕虜となった旧日本軍の兵士が、極寒のシベリアに送られ強制労働を強いられた出来事です。

この本では実際にシベリアに連れていかれた日本の兵士、石黒作衛氏が記録した実体験が綴られています。心が痛くなる内容ですが、生命や自由の大切さを改めて実感させられます。



【慶長遣欧使節関係資料（2013年6月登録）に関連して】

## 『潮路はるかに』

河北新報社/編 竹書房 210.52/シ/14（図書館4階一般）

伊達政宗は仙台藩を襲った大地震の復興のためにスペイン・ローマとの交易を企てました。そして現代にはこのような記録が残っています。[1613年 伊達政宗の命により、サン・ファン・パウティスタ号、支倉常長ら180人を乗せスペイン・ローマに向けて出航。]

支倉常長率いる使節団は地球の裏側での長い旅の中で何を感じ、何を残していったのでしょうか。この記録を読むと、勇気をもらい不思議と力が湧いてくるかもしれません。